



この施策は、サステナビリティを経営の基盤に位置付けている阪神高速グループが取り組むべき重要課題の一つ「マテリアリティ2/サステナブルなまちづくり」の実現に向けたものです。

2024年11月29日

つないでいく1.17～より「安全・安心な高速道路」の実現に向けて～
阪神・淡路大震災から30年 被災経験の継承
「震災資料保管庫」を特別開館いたします

阪神高速道路株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：吉田 光市）は、被災経験の継承と防災意識の向上を目的として、発災日である1月17日を前に、阪神高速道路の被災構造物を保管している「震災資料保管庫」を特別開館いたします。

当日は関係者による被災構造物の説明案内のほか、阪神・淡路大震災から30年を迎えるにあたり通常開館では実施していない震災を経験し被災構造物の撤去や復旧に携わった社員や、入社後に先輩社員の経験を継承している社員の講演を行い、それぞれの立場で1.17の経験と教訓をつないでいく想いをお話しさせていただきます。



昨年の講演の様子

また、特別開館開催中の2日間は他の施設との連携の取組として、「人と防災未来センター」（神戸市中央区・HAT 神戸内）と「震災資料保管庫」を結び無料シャトルバスを運行いたします。「人と防災未来センター」は阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に伝え、これからの備えを学ぶ防災学習施設となっております。この機会に、「震災資料保管庫」と併せてご覧ください。



人と防災未来センター（屋外展示されている被災構造物の一部）

多くの方々のご来館をお待ちしております。

2025年の実施概要

- 特別開館日：2025年1月11日（土）及び12日（日）
各日9：30～16：30（最終受付16：00）
- 場所：神戸市東灘区深江浜町11-1
- 参加費：無料
- 参加方法：当日受付（事前申し込み不要）
- 内容：震災資料保管庫内はご自由に見学いただけます。
- 主催：阪神高速道路株式会社
- 共催：一般財団法人阪神高速先進技術研究所
- その他：特別開館日以外（通常の開館日）の見学は事前予約制となります。見学をご希望される場合は、お問い合わせ先をご確認ください。

■震災資料保管庫

- ・阪神・淡路大震災での被災経験を風化させることなく後世に継承するため、また、今後の防災対策の研究の一助となることを願い、特徴的な被災構造物 34 点を展示しています。
- ・国内外を問わず、行政関係者や専門技術者、小学校の地震防災学習の観点での見学など、多くの方々にご来場いただいております。
- ・通常、毎月第 1 週及び第 3 週の水曜・日曜に、事前予約制で一般の皆さまの見学を受け付けております。



○講演会等のスケジュール：被災構造物の説明案内及び社員の講演は下記のスケジュールにて実施いたします。

開始時間	(約 10 分)	⇒	(約 25 分) 講演会	⇒	(約 45 分) 見学	終了予定時間
10:00		⇒	弊社社員などによる講演会	⇒	弊社社員などによる被災構造物ご案内	11:20
11:30	DVD	⇒		12:50		
13:00	上映	⇒		14:20		
14:30		⇒		15:50		

※上記の企画は各回・定員 30 名（先着順）とさせていただきます。

○他の施設との連携：「人と防災未来センター」（神戸市中央区・HAT 神戸内）と「震災資料保管庫」を結び無料シャトルバスを運行します

人と未来防災センター・・・特別企画「1995.1.17 から 30 年。あらためて知る 阪神・淡路大震災～30 年を振り返り未来を展望する 30 コラム展～」を開催中です。

※「人と防災未来センター」の観覧料は個人でご負担願います

○注 意 事 項：阪神深江駅付近～震災資料保管庫間で無料シャトルバスを運行いたします。

無料シャトルバスの時刻は 2024 年 1 月 23 日（月）以降、弊社ホームページで発表いたします。

- ・お車でもご来館いただけますが、駐車スペースに限りがあります。駐車場内では係員の誘導に従って駐車いただきますようお願いいたします。
- ・中型バスでご来館の場合は事前にご連絡をお願いいたします。スペースの関係から、大型バスでのご来館はご遠慮いただきますよう、お願いいたします。
- ・被災構造物展示場所に暖房はございません。暖かい服装でご来館ください。

お問い合わせ先

- ・特別開館に関すること
阪神高速道路株式会社 技術部技術企画課 06-6203-8888（平日 9:30～17:00）
（※12/28～1/5は年末年始休業となります）
 - ・通常開館日の予約に関すること
一般財団法人阪神高速先進技術研究所 06-6244-6049（平日 9:30～17:00）
- なお、通常開館日のご予約は以下の URL から承ります。

<https://www.hit.or.jp/hokanko/inspection.html>

つないでいく1.17 ～より「安全・安心な高速道路」の実現に向けて～

阪神・淡路大震災から30年 被災経験の継承

震災資料保管庫 特別開館

2025年1月で阪神・淡路大震災から30年を迎え、被災経験継承のさらなる契機とし、1月17日の直前の土曜日及び日曜日に、甚大な被害を被った阪神高速道路の被災構造物を保管している「震災資料保管庫」を特別開館いたします。

特別開館日

2025年1月11日(土)・12日(日)

9:30～16:30(最終受付 16:00)

場所

震災資料保管庫(神戸市東灘区深江浜町11-1)

- 当日は無料シャトルバスを運行いたします。
- 阪神深江駅から徒歩30分(約3km)。
- お車で来館いただけますが、駐車スペースに限りがあります。なお、駐車場内では係員の誘導に従って駐車いただきますようお願いいたします。
- 中型バスで来館の場合は事前にご連絡をお願いいたします。駐車スペースの関係から、大型バスでのご来館はご遠慮いただきますよう、お願いいたします。

参加費

無料

参加方法

当日受付(事前申し込み不要)

内容

震災資料保管庫内はご自由に見学いただけます。



※被災構造物展示場所に暖房はございません。暖かい服装でご来館ください。

特別開館に併せて、以下の企画を実施します。

震災を経験し被災構造物の撤去や復旧に携わった当時の社員や、入社前に被災し入社後に先輩社員の経験を継承している社員。阪神高速道路(株)の4名の社員がそれぞれの立場で、1.17の経験と教訓をつなげている想いをお話させていただきます。

第1回 10:00開始

第2回 11:30開始

第3回 13:00開始

第4回 14:30開始

DVD上映(約15分)

阪神高速道路の震災後の撤去や復旧に携った社員、その経験を継承する社員による講演会(約35分)

※それぞれの回で1名が登壇いたします。

阪神高速道路社員による被災構造物ご案内(約45分)

※上記の企画は各回・定員30名(先着順)とさせていただきます。

満員となった場合は、参加をご遠慮いただく場合がございます。

※開始時間10分前に受付までお越しください。 ※講演者は変更になる場合がございます。

阪神深江駅付近



震災資料保管庫

シャトルバスを運行

※時刻表は阪神高速ホームページにて12月23日以降お知らせします。



特別開館中の2日間は「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」と「震災資料保管庫」を結ぶ無料シャトルバスを運行します。

「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」では下記の企画が開催中です。ぜひこの機会にご利用ください。



特別企画 1995.1.17から30年。あらためて知る 阪神・淡路大震災 ～30年を振り返り未来を展望する30コラム展～

◀ 詳しくは公式サイトでご確認ください。 ※「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」の観覧料は個人でご負担願います。

特別開館に関するお問合せ

阪神高速道路株式会社 技術部 技術企画課 06-6203-8888(平日 9:30～17:00) ※12/28～1/5は年末年始休業となります。

主催 阪神高速道路株式会社

共催 一般財団法人阪神高速先進技術研究所

震災資料保管庫の通常開館日は毎月第1・第3水曜日および第1・第3日曜日です。(一財)阪神高速先進技術研究所ホームページからお申込みいただけます。